

茂原市子ども会育成連合会

子ども会だより

あつまれ笑顔

2022年
64号

■発行人 茂原市子ども会育成連合会広報委員会(茂原市道表1番地)



口をハンカチやタオルで覆いできるだけ低い姿勢をとって、壁伝いに速やかに避難が鉄則



今日は特別に試乗も出来るし写真撮影もok!!



避難所で役立つコップやマスクなど、いざというとき知っているると便利

長生地区子ども会交歓・交流大会

令和3年11月21日(日) 長生村交流センター

～楽しみながら防災を学ぼう～



協力して70Lの水をゴールまでいかに早く運ぶか作戦練って頑張ると!!



各地区より防災知識あるあるを出題 楽しくO×で答えると豪華賞品がゲット

予告

Let 'goキャンプ 2022



日時 9月17日(土) ~ 9月18日(日)

行先 鴨川シーワールド/鴨川青少年の自然の家

鴨川シーワールド見学・シーカヤック体験
キャンプファイヤー・野外炊飯・焼き板工作



“子ども会を存続させるためにできること”を聞いてみました

私たちの子ども会は、昨年度「6年生の2人が卒業したら、会員はもう2人しかいない」という状況でした。そのまま休会という道もありましたが「子どもたちの遊び場」や「地域自治における子ども会の重要性」を考えると、やはりここはどうにかしよう！と、残る母2人で継続に向けて動き出しました。まずは「なぜ自分の子どもを子ども会に入れないのか？」を母たちから教えてもらうことからスタート。

日常の他愛もないおしゃべりの中で耳にしたのは下記のような様々な本音。つまりその全てを解消することができれば、良いわけです。入会しない理由が1つでも無くなればいいのですから、やることはシンプルでした。

- ① 「うちの地区には子ども会がない」→ 町内の一部地区から学区全体に募集エリアを拡大しました。
- ② 「自治会に入っていないから入れない」→ 会費制を導入し、他地区の子も入会できるようにしました。
- ③ 「土日は忙しい」→ 会員の全世帯の予定を調整して活動日を決める & 子どもだけの参加もOK！
- ④ 「下の子もいるし」→ 入会対象も年少～小学生までと拡げて、一緒に活動できるようにしました。
- ⑤ 「入ったら大変そう、めんどくさい」→ 活動は年4回しかないから全然大変じゃないよー！ということを知らせるチラシを小学校経由で全校生徒に配布しました。

①～④までは、子ども会そのものの仕組みを変えることで、あっさり解決できる問題です。

⑤に関しては、受け手の先入観もありどう捉えるかという問題も大きいので、出来ることには限界があるものの大変！と感じさせないようにゆるやかに楽しい雰囲気を作り続けていくことで、活動に参加した親子たちから自然と拡がり、少しずつ年数をかけて浸透していくものだと感じています。

「実際に私たちが動いた期間は、2022年1月～3月の約3ヶ月と短い間でしたが、上記内容を淡々と進めた結果、今年度最初の歓送迎会では2人の卒業生を16人の子どもたちと一緒に見送ることができました。また人数が増えたおかげで市バスも借りられることになり、夏休みには鴨川シーワールドへの日帰りバス旅行も決定しています。子どもたちだけでなく、私たち親の楽しみも増えています。

「入会を決める人」は子どもではなく、その保護者です。その声を無視して求められる場所は作れません。夫婦共働きが当たり前の忙しい保護者たちに寄り添ったあたたかい仕組みと運営になっているか？大人の都合ばかりを優先にしていないか？本当に子どもたちが笑顔になれる活動なのか？それを考えるためには、保護者や子どもたちの声を聞くことから始まります。遊びが足りない子どもは、たくましく生き抜く力が育ちません。コロナ禍という数年に失われた経験を取り戻す意味でも、子どもたちが子どもらしく遊べる地域の場所を今後も守って いきたいと思っています。



らしく遊べる地域の場所を今後も守って いきたいと思っています。 萱場ひまわり子ども会 内山都美

子ども会活動は、学校や家庭以外の地域の中で、年齢の違う子ども達との遊びや体験を行うことで、社会生活上のルールを学び、コミュニケーション術を身につけながら成長していく重要な場所です。今年度の市子連は、地域の皆様との信頼関係を築き上げることが重要だと確信しております。子ども会同士のつながりを大切にしながら、不安や悩みを共有し共に支え合い助け合える組織作りをし、令和4年度が子ども会の明るい未来につながる転機となるように願います。

茂原市子連会長 岡澤 恵美子